

本だからこそ、
つたえたいものがあり

本だからこそ、
うけとれるものがある。

2026 学校図書館ブックガイド

NCL



本で学ぼう!
SDGs

図書目録

Nature Child Library



つなぐ つたえる 学校図書館

つなぐ つたえる 学校図書館

きみはどんな本が好きですか？

すこし昔の話。ある島では、大きい図書館がありませんでした。

「それなら、島中を図書館にしてみよう」と考え、人が集まるいたるところに本棚を置いて、その場所に合わせたジャンルの本を貸し出せるようにしたそうです。

ある日、そんな本棚から絵本を借りてきた子どもが、とてもうれしくなってお父さんとお母さんに、いっしょけんめい読み聞かせてくれたそうです。お父さんとお母さんは、わが子の成長に感動してしまった。素敵な話です。

本は、感動や知識をつたえて、つなぎます。人から人へ、そして過去から未来へ。

図書館で、きみの好きな本をさがしてください。そして、大切な人に、つたえ、つないでください。そんな思いで、今年も、たくさんの本を紹介します。きみの未来が、学校図書館から大きく羽ばたいてくれますように。

今年紹介する本から

いま通っている学校がなくなってしまうってどういう気持ちだろう。
自分の家や友だち、思い出までがなくなってしまうのは悲しいよね。



◀『消えた学び舎 変わりゆくまち』(農文協)
原発災害は今も それでも「ふるさと」より
(49頁掲載)



◀『変わってしまったぼくの町、ぼくの学校
ウクライナの少年・ダニールが見た戦争』
(汐文社)

次世代へのバトンを 汐文社新刊絵本セット
2026より(60頁掲載)

表紙のことば

本の扉を開ければ、そこは心躍る旅立ちの玄関口。切符も荷物も必要なし。ワクワクするような好奇心と想像力をエネルギーにして軽々と時空を超えれば、現実には出会えぬものとの思いがけない出会いが待っています。
そんな扉が誰の前にも等しく無限に並ぶ図書館こそ過去と未来を瞬時に繋ぐワンダーランド。子どもたちが沢山の扉を開けて、思う存分豊かな体験を重ねていって欲しいと、心から願っています。

おのでらえいこ

